



T. Rowe Price

2024年3月吉日

受益者のみなさまへ

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

コミッション・シェアリング・アレンジメントの利用開始について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社設定の投資信託に格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

今般、ティー・ロウ・プライスは、コミッション・シェアリング・アレンジメント（以下「CSA」といいます。）の利用を開始することを予定しております。これにより、弊社設定の公募投資信託の運用管理費用（信託報酬）に変更はありませんが、受益者のみなさまに実質的にご負担いただくこととなる費用に影響が出てまいりますので、お知らせいたします。

今後ともご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. CSA の利用について

ティー・ロウ・プライスは、今般、CSA を通じたリサーチ・サービスの購入を開始する予定です。

CSA とは、運用会社が証券会社等に発注するファンドや顧客口座のための一定の株式売買執行において、執行費用とリサーチ・サービスの費用両方を反映する売買委託手数料（コミッション）を証券会社等に支払うことにより、売買委託手数料の一部が実質的にリサーチ・サービス購入費用に充てられる仕組みです。リサーチ・サービス購入の対象には、証券会社等が直接提供するものおよび第三者が提供するもの両方が含まれます。運用業界における CSA の利用は一般的なものであり、ティー・ロウ・プライスにおいても、業界慣行に沿って株式売買委託手数料の一部を利用し、リサーチ・サービスを購入したいと考えております。

なお、ティー・ロウ・プライスでは、株式取引にあたり、その最良執行基準に合致した証券会社等を選択しております。今般の CSA の利用開始によっても、受託者責任および規制上の義務に合致した方法で取引執行するという、ティー・ロウ・プライスの長年にわたる慣行に変更はございません。

2. 弊社設定の投資信託への影響

弊社設定の投資信託に関しては、2024年4月1日からCSAの使用を開始する予定でございます。弊社設定の投資信託のうち、対象となる公募投資信託（以下「対象ファンド」といいます。）については、別紙をご参照ください。これらのほか、今後設定される弊社の公募投資信託についても、CSAの対象となる予定です。

CSAの利用により、対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）に変更が生じることはありませんが、一定の株式取引においては、信託財産の組入有価証券の売買委託手数料にリサーチ・サービス購入充当分（以下「リサーチ手数料」といいます。）が含まれることとなることから、執行費用のみとの比較において、費用増となります。売買委託手数料は信託財産から支払われるため、実質的に受益者のみなさまのご負担が増えることとなりますが、その影響は限定的なものに留まるものと考えております。リサーチ手数料は、運用管理費用（信託報酬）以外の他の費用・手数料と同様、運用状況等により変動するものであり、事前にその具体的な額をお示しすることはできませんが、CSAの利用開始後に交付される各対象ファンドの運用報告書の「1万口当たりの費用明細」において、リサーチ手数料を含めた売買委託手数料をご確認いただくことができます。

《例》

■1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2022年2月26日 ～2023年2月27日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	154円	
（投信会社）	(80)	(0.940)	投信会社分は、ファンド運用の指図、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
（販売会社）	(71)	(0.830)	
（受託銀行）	(3)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	5	0.060	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
（株式）	(5)	(0.060)	
(c) その他費用	5	0.053	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用・印刷費用等）	(3)	(0.032)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や有価証券届出書、目録見書、運用報告書等の作成に係る費用、その他信託事務の処理等に要する諸費用等
合計	164	1.916	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

なお、各対象ファンドの約款においては、信託財産の諸費用として「信託財産の組入有価証券の売買委託手数料」が明記されており、リサーチ手数料については売買委託手数料に含まれることから、今般のCSAの利用にあたって、約款の変更は行わない予定です。

投資信託説明書（交付目論見書）では、売買委託手数料はファンドの費用・税金のページに下記のように記載しております。

《例》

その他の費用・手数料	信託事務の諸費用等	法定書類等の作成等に要する費用(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提出にかかる費用)、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%(税抜0.1%)を上限とする額が毎日計上され、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	売買委託手数料等	<u>組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等が、信託財産から支払われます。</u> ※運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

※上記の手数料・費用等の合計額等については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

今般の CSA 利用開始は業界慣行に沿ったものであり、受益者のみなさまにおきましては、何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

電話番号： 03-6758-3840 （受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

以上

<別紙> 対象ファンド

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Aコース (資産成長型・為替ヘッジあり)
ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Bコース (資産成長型・為替ヘッジなし)
ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Cコース (分配重視型・為替ヘッジあり)
ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Dコース (分配重視型・為替ヘッジなし)
ティー・ロウ・プライス 米国成長株式ファンド
ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド (確定拠出年金向け)
ティー・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式ファンド Aコース (為替ヘッジあり)
ティー・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式ファンド Bコース (為替ヘッジなし)
ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド Aコース (為替ヘッジあり)
ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド Bコース (為替ヘッジなし)
ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド Cコース (毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり)
ティー・ロウ・プライス 米国割安優良株式ファンド Dコース (毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)
ティー・ロウ・プライス 米国オールキャップ株式ファンド
ティー・ロウ・プライス 米国中小型株式ファンド Aコース (為替ヘッジあり)
ティー・ロウ・プライス 米国中小型株式ファンド Bコース (為替ヘッジなし)
ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド Aコース (為替ヘッジあり)
ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド Bコース (為替ヘッジなし)

(2024年3月現在)

当資料に関する留意点

- 当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が、情報提供等の目的で作成したものであり、特定の運用商品を勧誘するものではなく、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構や保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。購入金額については、元本および利回りの保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 「T. Rowe Price」、「INVEST WITH CONFIDENCE」および大角羊のデザインは、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標または登録商標です。

投資信託に係るリスク

- 投資信託は預貯金と異なります。投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託の運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
- 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

投資信託に係る費用

投資信託の投資者が負担する費用には以下があります。

投資者が直接的に負担する費用：

- 購入時手数料：上限3.3%（税抜3.0%）
- 信託財産留保額：ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用：

- 運用管理費用（信託報酬）：上限 年率1.793%（税抜1.63%）
- その他費用：法定書類等の作成等に要する費用、監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等があります。運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

上記の手数料・費用等の合計額については、投資者が投資信託を保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ご注意：上記に記載しているリスクや費用項目は、一般的な投資信託を想定しており、費用の料率は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が運用する全ての公募投資信託のうち、投資者のみなさまにご負担いただく各費用における最高の料率を記載しております。リスクや費用は投資信託ごとに異なりますので、詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

商号等：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3043 号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会/一般社団法人投資信託協会